

# 我が国の住宅性能は 先進国で最低水準？

今年4月から、新築戸建て住宅も「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の義務対象になった。この機会に、県がこの制度を通して目指していることや、本来消費者が住まい選びの際に知っておくべき、住まいの「燃費性能」と「健康性能」との関わりなどについて、シリーズでお届けする。

許可がおりず、建築するに認められない。もちろん日本も国土交通省が省エネ基準を定めている。しかし300㎡以上の建築物に届出義務があるだけで、適合していなくても建築は可能だ。そのため、国土交通省の公表データでは、新築住宅の省エネ基準適合率は、図1のように4〜5割に留まっている。しかもこれは、300㎡以上の共同住宅等のデータであり、戸建住宅の適合率はさらに低い可能性が高い。

ほとんどの先進国は、住宅の省エネ性能の基準を定めており、英国、ドイツ、フランス、米国(州による)、韓国(500㎡以上)などの国々では省エネ基準に適合していない住宅・建築物は建築に留まっている。この数値が小さいほど熱を通しにくく、断熱性能が高いことを示すのだが、図2のように、我が国の窓の断熱性能の表示等級では、2・3・3以下であれば

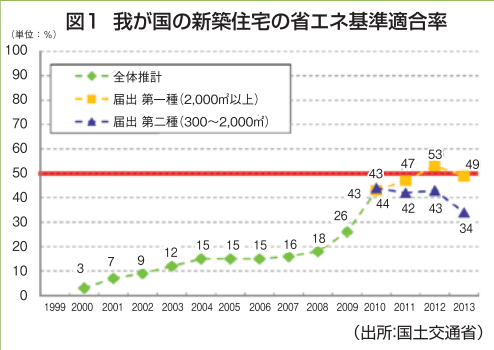
図2 省エネ建材等級表示区分(窓) (出所:日本サッシ協会)

表示区分	窓			
	熱貫流率が2.33以下のもの	熱貫流率が2.33を越え4.49以下のもの	熱貫流率が4.49を越え4.65以下のもの	熱貫流率が4.65を越えるもの
等級記号	★★★★	★★★☆☆	★★☆☆☆	★☆☆☆☆
ラベル表示				

断熱性能が高い ← → 断熱性能が低い

日本では最高ランクの☆☆4つが得られてしまう。中国では基準を満たさない地域が多いという。中国の基準は地域によりが概ね2・0前後であり、中国でも使用できない地域が多いという。最高ランクのサッシですらこうなのだから、我が国の住宅で使用されている一般的なサッシは、ほとんどの先進国で使用できないのだ。

このように、住宅の省エネ性能(断熱性能)については、日本の常識は他国の非常識であると感じた方が良さそうだ。次回は、住まいの断熱性能を考える上で最も重要な窓の性能についても少し踏み込んでみたい。



毎週水曜日掲載 / 次回掲載は5月27日(水)予定

一社団法人日本エネルギーパス協会編 (03・62005・4492)

**セキスイハイム**

昼間はソーラーでたっぷり発電し、家庭内で使用

余った電力を電気自動車にしっかり充電

ためた電力を夜や早朝に使用

**VtoHeim 誕生!** 住まいと、クルマと、太陽と。

創エネ・省エネ・蓄エネの進化形

家庭用として初めて、ソーラー発電、商用電力\*1、そして電気自動車の3つの電源を連携させた新しいスマートハウスが誕生しました。

※1.一般家庭が電力会社から購入する電力

**[1. エネルギー自給率75%\*2]**

一般ソーラー住宅の3倍以上!

電力会社から買う電力の割合: 約21%

電力会社から買う電力の割合: 約75%

ソーラーで発電した電力の割合: 約4%

電力会社から買う電力の割合: 約21%

電力会社から買う電力の割合: 約75%

ソーラーで発電した電力の割合: 約4%

電力会社から買う電力の割合: 約21%

電力会社から買う電力の割合: 約75%

ソーラーで発電した電力の割合: 約4%

電力会社から買う電力の割合: 約21%

電力会社から買う電力の割合: 約75%

ソーラーで発電した電力の割合: 約4%

**[2. 年間約56万円の節約\*3]**

光熱費

一般住宅より 約51万円/年削減

自動車燃料費

ガソリン車より 約5万円/年削減

**[3. 数日続く停電でも安心]**

いつも通りの暮らし

停電時にもEVへ蓄エネ

業界初

EVから給電

長野県 住宅着工棟数 **No.1**

2013年度住宅着工実績 (新建築社調べ)

セキスイハイムは「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の趣旨に賛同しています。

【試算条件】(一般住宅)Q値2.7/Ua値0.87/暖房:エアコン(全館24h)/冷房:エアコン(全館24h)/調理:電気/給湯:エコキュート (VtoHeim)Q値2.1/Ua値0.61/オール電化/快適エアリー標準/建築地域:名古屋/延床面積:127.3㎡ ※2. (共通)EV/ワゴン:グリーンモード使用/電力契約:中部電力 Eライフプラン(2015年4月現在)/太陽光買取単価(10kW以上):29.16円/kWh/年間走行距離:0km/EV:日産リーフ(24kWh)/EV電池残量:25% ※3. (共通)EV/ワゴン:グリーンモード使用/電力契約:中部電力 Eライフプラン(2015年4月現在)/太陽光買取単価(10kW以上):29.16円/kWh/年間走行距離:0km/EV:日産リーフ(24kWh)/EV電池残量:25% ※4. ●実際の光熱費はお客様の居住地域の条件、プラン、設備仕様、生活スタイル、電気自動車運転スケジュール、今後の購入電気代単価の変動等によって変化します。 ※4. 日本国内の住宅向けVtoHeimシステムにおいて、初めて電気自動車・太陽光発電システム・電力会社からの3つの電力の同時制御、及び充電電を可能にしました。(2014年4月現在、当社調べ)

■松本住宅公園展示場 TEL.0263-24-2816 ■松本南住宅公園展示場 TEL.0263-59-6161 ■あづみの住宅公園展示場 TEL.0263-71-1816

●私たちがセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。右記URLをご参照いただき、お電話にて窓口までお問い合わせください。 ●ホームページ <http://www.sekisui-hs.jp> ●問い合わせ先:0263-28-8300

定休日:水・木曜日